

区分	重点課題	実績	達成度
マネジメント	経営トップによる見直し	<ul style="list-style-type: none"> ● CSR 推進会議 ● 保安・環境監査 	A A
環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 法的要件事項等の遵守 ● 環境事故ゼロ ● 環境負荷低減目標の達成 ● 環境負荷物質排出削減・維持 ● 部署管理目標値 ● 超過部署数ゼロの達成 ● 省エネルギー・節電の推進 ● 廃棄物ゼロエミッションの維持・推進 ● 環境マネジメントシステムの継続的改善 	<ul style="list-style-type: none"> ● 法的要件事項の遵守を徹底 ● 環境事故ゼロを継続 ● 環境負荷物質排出削減 ● 3部署で管理目標値未達 ● 省エネルギーの推進 ● エネルギー消費原単位削減 ● 廃棄物の有効利用率 94% 維持 ● ゼロエミッション率 99% 維持 ● 環境マネジメントシステムの継続的改善 ● 簡素化に向けて文書・様式の見直し ● 内部監査の実施、第三者審査の受診 	A A B A A A A A A
保安防災 労働安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> ● 無事故・無災害 ● 保安管理システムの充実 ● リスク管理・危機管理の推進 ● 心とからだの健康づくり推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事故 2 件発生 ● 従業員 死亡災害 1 件、不休災害 2 件 ● 協力会 不休災害 1 件 ● 保安管理システムの充実 ● 非定常時リスクアセスメントの検討 ● ヒヤリハット活動の充実 ● 保安情報の共有化と活用 ● リスク管理・危機管理の推進 ● 各種防災訓練の実施 ● 首都圏直下型地震の BCP 運用 ● 徳山製造所 南海トラフ巨大地震等を想定した検討 ● 心とからだの健康づくり ● 個人の健康意識の向上 ● メンタルヘルス対策・生活習慣病対策を重点に健康管理活動を推進 	B B B A A A A A A A A B A
化学品安全	● 製品の安全性確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品審査・表示審査の実施 ● SDS の整備 ● JIPS*への積極的参加 ● 海外の化学品規制への対応 	A A A A
地域・社会との信頼関係	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動への参加 ● 地域社会との共生 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域のボランティア活動への参加 ● RC 地域対話の実施 ● 工場見学会の実施 	A A A
グループ会社へのレスポンシブル・ケア活動の推進	● レスponsible・ケア活動の普及推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 保安・環境・品質監査の実施 ● レスponsible・ケア関連情報の共有化 ● メールマガジンによる定期的な情報提供 (1回/月) 	A A

* JIPS : Japan Initiative of Product Stewardshipの略、日本化学会が推進する化学品管理自主活動化物質(製品)の有害危険性の情報を収集し、解析した上で、使用・用途の情報をあわせてリスク評価(暴露量と安全量の比較)を行う。そのリスク評価の結果に基づき、作業安全や消費者保護および環境影響の低減のため適切な管理を行い、その結果をサプライチェーンおよび社会一般に公開する活動。